ひだまり通信

第70号
令和6年12月

011-676-3131

ひだまりエッセイ

在宅ケア開拓委員会は、コロナ渦の令和3年4月から3年間の活動休止期間をへて、令和6年4月に活動再開しました。活動の柱は二つ、

①自己研鑽のための外部研修や業務に必要な書籍購入費用にあたる「研修奨励金」のとりまとめと職員向け法人内研修の企画・実行。

②地域交流空間を使っての在宅ケア開拓塾「まなびば」の開催です。

「まなびば」では、地域で活躍されている医師や看護師、ケアマネさんや保健師さんなどを講師にお招きして「まなぶ」活動をしてきましたが、今年度はまだ再開できていません。法人内研修や地域交流空間で行う行事と共催することでの再開を検討しています。

医療・介護・福祉の世界は「資格取得と自己研鑽のための勉強」が第一だと、十年以上前に出会った上司に言われたことがあります。老蘇会職員の研鑽に役立つよう研修参加や参考文献探しなど、まず委員が率先して行いたいと頑張っております。ただ、委員の3名が職歴・年齢ともにベテランですので、この委員会は若き力を求めています。

在宅ケア開拓委員会
委員長　渡邊　園江

小規模多機能型居宅介護つるかめ 避難訓練

小規模多機能型居宅介護事業所つるかめでは、避難訓練の実施が義務付けられています。今年は運営推進会議の日程に合わせて計画しました。

避難が必要な災害の時に、地域の皆様のお力をお借りする場合が想定されます。

今回は、実際の訓練の様子を地域の方に見ていただきました。今後どのような協力体制を作ることができるかをこれから考えていきたいと思っています。

また、災害が発生した時は地域住民の皆様に対して、老蘇会として何ができるかについても町内会の皆様と共に考えていきます。

能登地震の際、普段の訓練が命を守った例が沢山あったそうです。災害が起こらないことが一番ですが、たとえ災害が発生しても対応できるようにこれからも地域の皆様と連携しながら訓練を続けていきたいと思います。

地域交流空間ひだまり
中村明子

発行：医療法人財団
静明館診療所　静明館訪問看護ステーションののはな・そらいろサテライト　サービス付き高齢者向け住宅あいのて
小規模多機能型居宅介護事業所つるかめ　老蘇訪問介護事業所　静明館居宅介護支援事業所はれのひ